

学生による認知症高齢者支援に関する普及・啓発を目指した地域プログラムの実施～関西福祉科学大学オレンジ・プロジェクト（FOP）～

学科・専攻
社会福祉学科



担当教員

都村 尚子(代表)、三田村 知子、成清 敦子、
辻 陽子、竹田 直樹

連携先

大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11-1

プログラム内容

本プログラムは、総合的な認知症高齢者への支援活動(認知症高齢者へのコミュニケーションに関する学習と実践、柏原市内における認知症カフェ(カフェほのぼの・コイノニアカフェ・Rカフェ)を中心とした組織であり、どの活動においても学生主体での実施を特徴としている。学生は、プロジェクト内で学習した認知症高齢者とのコミュニケーション法を認知症カフェにおいて実践している。特に学園内の立教館で行っているRカフェでは、移動困難者支援として「自転車タクシー」も導入している。本プログラムの目的は、専門的な知識や視点を身につけるだけでなく、地域における様々な社会資源について理解し、プロジェクトの成果を地域に還元していくことである。

成果・考察

コミュニケーション法に関する学習を月1回のペースで実施。認知症高齢者への実践は、一部の施設で対面実施の再開やリモートによる実践を行いながら、認知症高齢者へのコミュニケーションの練習に取り組むことができた。また、コロナ禍では実施できていなかった一泊二日で行う学外合宿を実施し、コミュニケーション法のスキルアップとチームワークのさらなる醸成に取り組んだ。

また、認知症カフェについては、コイノニアカフェは昨年度同様に感染予防のため開催を見合わせが続いているが、カフェほのぼのは、柏原市社会福祉協議会と連携を図りながら開催できた。Rカフェとカフェほのぼのでは、新規利用者として、各カフェで1名ずつ認知症高齢者をカフェに繋ぐことができた。その他、付属高校への文化祭に参加し、FOPの活動や大学(社会福祉学科)の広報活動にも取り組むことができた。今年度の活動を通して、更に地域へ還元する活動の幅を広げることが出来たと考える。

【勉強会 ■】



【一泊合宿 ■】



【自転車タクシー 🚲】



社会福祉学科

竹田 直樹(助教・特任)

関西福祉科学大学オレンジ・プロジェクトの担当教員の一人として、学生のサポートに取り組んでいます。学生の内から認知症高齢者等へのコミュニケーション法を学ぶことや学びを活かして認知症カフェの運営に取り組むことはなかなか経験できるのではないと思っています。次年度も引き続き、担当教員として学生への支援やFOPの啓発にも取り組んでいきたいと思ひます。



小林 慎さん(学生代表)

今年度から新たに学生代表に就任し、FOPのあらゆる活動に取り組むことができました。そのなかでも自転車タクシーの運行や認知症カフェ運営の担当チームにも所属して、新入生育成や地域住民の方々の居場所となる認知症カフェの推進に尽力をしました。先輩から引き継いだ大きな役割ではありますが、令和6年度もさらにFOPを牽引できる学生代表になれるよう頑張っていきたいです！